

富士見小だより



富士見小 HP

学校教育目標 「未来を切り拓く心豊かな児童の育成」
校 訓 かしこく やさしく 元気よく

上尾市立富士見小学校 上尾市柏座 4-3-8 電話 048(771)0505

令和6年11月 1日
発行責任者
校長 吉田 充

読書のすすめ

校長 吉田 充

日が暮れるのも早くなり、本格的な秋を迎えました。子供たちの服装もだんだんと秋冬物へと変化し、移りゆく季節を感じています。

さて、秋はスポーツの秋、芸術の秋、食欲の秋など、いろいろなことに取り組んだり、楽しんだりすることに向いている季節と言われていますが、今回は「読書の秋」について触れてみたいと思います。

先月の学校だよりにも書きましたように、学力と読書には大きな関係があることが分かっています。本を読むことで語彙や知識が増えるほか、思考力や判断力が鍛えられたり、様々な事柄に興味が湧き、興味・関心をもって取り組もうとしたりすることが、学習面によい影響を与えるのだと思います。

また、登場人物などの気持ちを考えることで社会性が向上することや、本を読むことでストレスの解消や脳の活性化にもつながるとも言われています。このように、よいことばかりの読書ですから、時には、ゲームやSNSなどのデジタル機器を部屋の隅に置き、秋のひと時をじっくりと本に向き合ってみてはいかがでしょうか。

ところで、3年生の国語で「おすすめの一さつをきめよう」という学習があります。1年生におすすめする本をグループで話し合って決め、紹介するという内容です。



1年生が喜んでくれる本をどう選ぶか、興味をもって話を聞いてもらうにはどう紹介すればよいか、3年生の子供たちは熱心に話し合っていました。一人一人が持ち寄ったおすすめの本はそれぞれですが、自分たちがこれまでたくさんの本に触れ、本の楽しさを味わっているからこそ、1年生にもその喜びを感じてもらいたいという思いが、子供

【選んだ本を紹介し合う子供たち】 たちの一生懸命な姿から伝わってきました。

本校の子供たちは、たくさんの本を読んでいます。上尾市図書館から配布されている「読書パスポート」で300冊達成し、表彰された児童も多数います。（中にはパスポート6冊目、合計1700冊以上読んでいる児童もいます。）本は心の栄養ともいえます。本に触れてさまざまな思いを巡らしながら心を耕し、豊かな人間性の礎を築いてほしいと思います。

結びとなりますが、11月は上尾市教育月間です。家庭・地域と連携した教育の充実を図り、子供たち一人一人のもつよさや可能性の伸張を図りながら、富士見小の歴史と伝統を築いていきたいと思っています。引き続き、本校教育活動に対しまして、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。